

令和元年度 八代高等学校シラバス

教 科	英語	科 目	英語表現Ⅱ	学 年	2	類 型	
単位数	2	教科書	Be English Expression Ⅱ（いいずな書店）				
副教材	My Portfolio（いいずな書店）、システム英作文（桐原書店）						

学習目標	1 年次に学習した基本的な例文や構文知識をもとに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝える能力を養う。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	- 様々な主語の表現 - 無生物主語/名詞構文 - 時制 ・ 受動態 - 仮定法 - 使役動詞/知覚動詞 - 分詞/不定詞 ・ 関係詞	- 学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。 - 自分や与えられた課題について文章を書くことができる。 - 与えられた状況に置いて適切に話し、伝えることができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学 期	- 目的/程度/結果/原因/譲歩の表現 - 比較 ・ 条件/仮定の表現 - 否定の表現 - パラグラフの構成 - ディベート - プレゼンテーション	- 学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。 - 自分や与えられた課題について文章を書くことができる。 - 与えられた状況において適切に話し、伝えることができる。 - パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。 - 自らの意見を適切な表現を用いて伝えることができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	システム英作文より - 無生物主語 ・ 仮定法 - 関係詞 ・ 不定詞 - 接続詞 ・ 動名詞 - 時制 ・ 分詞 - 助動詞 ・ 態	それぞれの文法項目の形式の理解。 それぞれの文法項目の意味の理解。 それぞれの文法項目の機能の理解。 基本的な表現の活用。 発展的な表現の理解。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

学習方法	該当レッスンの演習問題に各生徒が予習で取り組む。 予習した内容をベースにして授業で開設を行う。 即興的な自己表現も授業中に行う。
------	--

評価方法	- 定期考査 ・ 小テスト ・ 予習 ・ 提出物の状況 - エッセイライティング(自由作文) ※上記の項目を総合的に評価する
------	---